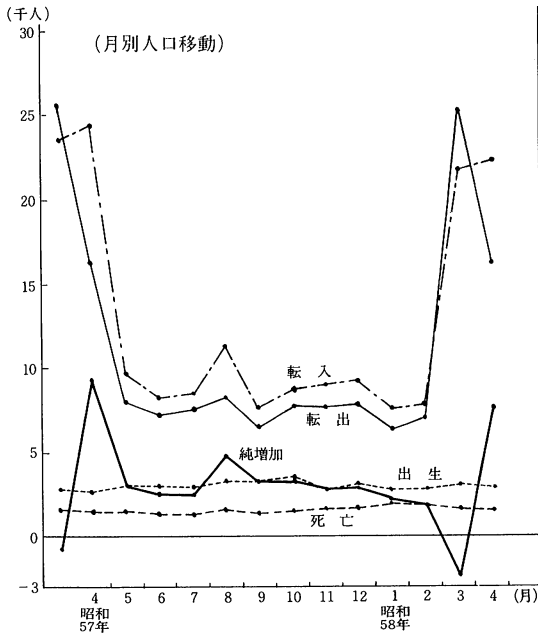


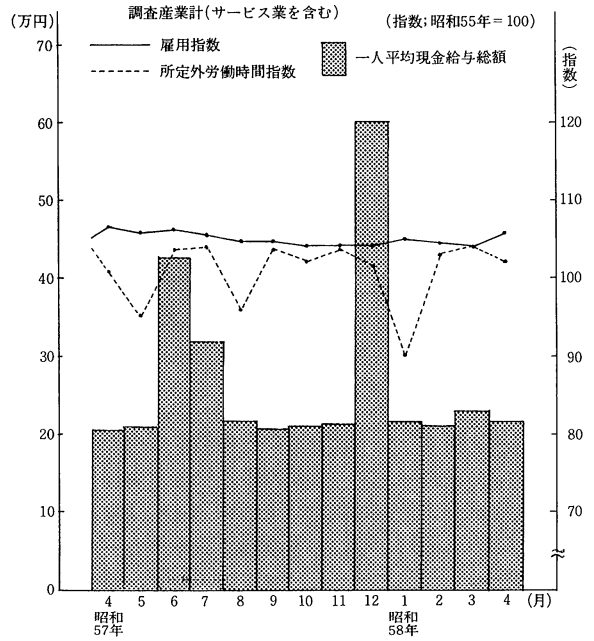
●今月の主な動き

今月の主な動き

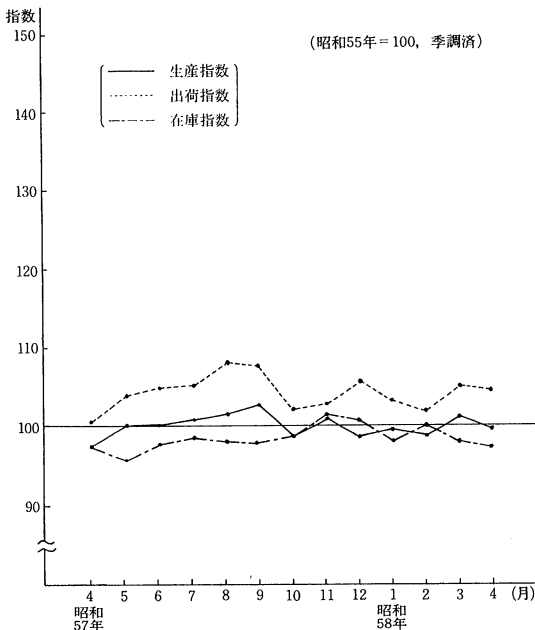
人 口



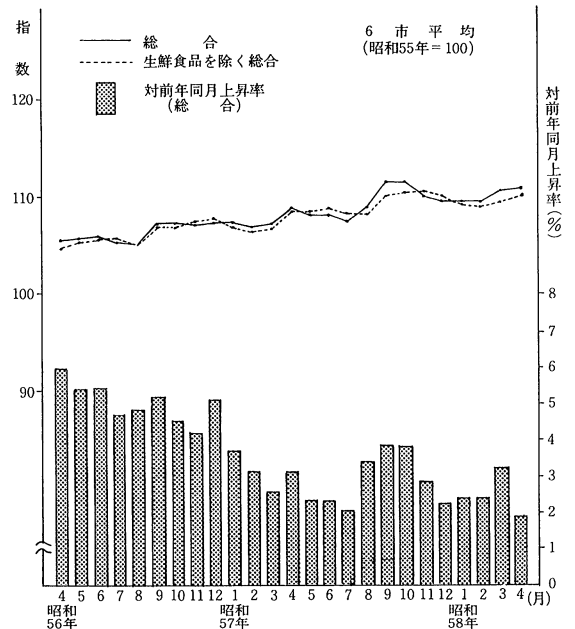
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………茨城県企画部統計課

■人口(5月1日)

本県の人口は、4月中に7,538人増加し、2,650,344人となった。

昨年5月1日と比較すると、34,221人(1.31%)の増加である。

内訳では、自然動態で1,410人、社会動態で6,128人とそれぞれ増加した。

市町村別では、増加16市48町村、減少2市26町村である。

本月は例年のとおり、転勤、学生等の移動により転入の増が目立つ月であり、なかでも筑波大学のある桜村は1,500人を超える人口増加となった。

世帯数も6,538世帯の増加である。

■賃金・労働時間・雇用(4月) —雇用指数は、対前年増減率0.5%減—

1. 平均賃金の推移

4月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)

1人1ヵ月平均現金給与総額は210,701円で、前月に比べ8.9%減(前年同月比2.7%増)であった。

このうちきまって支給する給与は209,356円で、前月に比べ1.8%増(前年同月比5.3%増)であり、特別に支払われた給与は1,345円で前月に比べ24,517円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は182.9時間で、前月に比べ4.8%増

(前年同月比0.8%増)であった。

このうち所定内労働時間数は167.2時間で、前月に比べ5.5%増(前年同月比0.8%増)であり、所定外労働時間数は15.7時間で、前月に比べ2.5%減(前年同月比0.7%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、105.8で、前月に比べ2.0ポイント増、前年同月に比べ0.5ポイント減であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(4月) —鉱工業生産1.6%低下—

昭和58年4月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が99.8、出荷が104.7、在庫が97.3で、前月比は△1.6%、△0.3%、△0.7%といずれも低下した。前年同月比(原指数)は、2.9%、4.4%、0.1%と上昇した。

生産は業種別にみると、電気・機械、化学等が上昇し、非鉄金属、食料品・たばこ等が低下した。

出荷は業種別にみると、電気・機械、化学等が上昇し、

非鉄金属、精密機械等が低下した。

在庫は業種別にみると、一般機械、石油・石炭等が上昇し、化学、食料品・たばこ等が低下した。

特種分類別にみると、生産、出荷では耐久消費財、非耐久消費財等が上昇し、資本財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫は資本財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財等が低下した。

■消費者物価指数(4月) —対前月比(+)0.3%の上昇、対前年同月比(+)1.8%の上昇—

昭和58年4月の茨城県消費者物価指数は、55年を100とした総合指数で110.8となり、前月に比べ(+)0.3%、前年同月に比べると(+)1.8%の上昇となっている。

今月上がった主な項目……水道料(+)9.6%、授業料等(+)6.7%

今月下がった主な項目……野菜・海草(-)4.9%(うち生鮮野菜(-)7.5%

費目別指数(55年=100)

1 食料は	112.2	6 保健医療は	105.5
2 住居は	111.1	7 交通通信は	107.9
3 光熱・水道は	109.5	8 教育は	127.3
4 家具・家事用品は	104.4	9 教養娯楽は	112.5
5 被服及び履物は	106.3	10 諸雑費は	108.3